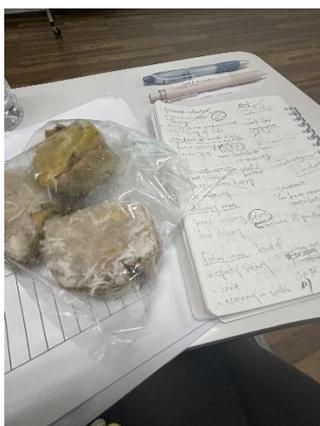


外国語学部英米学科 1 年（参加時）

私は一年の春休みにバンコクにあるキングモンクット工科大学へ短期語学研修に行ってきました。この留学に参加した理由や留学中の授業内容、授業外での動き、留学中で感じたことなどを書きたいと思います。

私は一年の二学期に「世界の学び方」という授業を履修していますが、その授業の中でこのプログラムに参加した先輩がお話をしてくださり、そこでこのプログラムに興味を持ちました。参加申込は締め切られていたのですが、プログラムを実施するための人数が足りておらず、締め切り日を伸ばすということがこの授業の中で知りました。私はもともと長期で留学しようと思っていたので留学費用的に参加をどうしようかぎりぎりまで迷っていましたが、今参加しなかったら後悔すると思い、申込締め切り二日前くらいの夜中に両親にLINEで参加したいことを伝えたところ、参加してみたらいいんじゃないかと言ってくれたので、すぐに申し込み手続きに必要なことを一緒にやってもらいました。短期留学が終わった今、参加して本当によかったなと思うし、参加させてくれた両親に感謝です。



語学研修ということでまずキングモンクット工科大学での英語の授業について書きたいと思います。北九大生の参加者のみで、9時から12時と13時から16時の一コマ3時間、1日二コマでした。一コマの中に、途中10分から15分くらいの休憩時間があってペットボトルの水とお菓子を出してくれて食べることができました。授業内容としては、スピーキングに特化していたと思います。2人から3人のグループに分かれて活動することが多かったです。シチュエーションを決めてそれに合った英語の台本をつくり、それをみんなの前で披露するというものや、一つの絵からストーリーをつくり出してそれを発表するもの、それぞれ職業を持たされて一人しか残れない状況において自分が残るべきと説得させるためのディベート形式のようなものなどがありました。最後の授業のほうは原稿をしっかりと作って読むというのではなく、考えながら伝えるみたいな感じでした。例えば、質問やお題が書かれた紙を引いて、それについてどのように話すか準備する時間が3分くらいあり、メモは見ずに1分半くらい話すというものがありました。またトピックは自由で、調べたりメモをしたりする時間が15分くらいあって、それを基に5分以上

上話すというものもありました。北九大の授業でもプレゼンテーションの授業はありますが、準備期間に1週間はあるので、その場で考えて5分以上話すということはとても難しかったです。焦って全然英語が出てこないし、話す構成もめちゃくちゃになってしまいま

した。それに比べて先輩方は構成もしっかりしていて言いたいことがずっと入ってくるような発表で、同じ準備時間であるのにすごいなと思いました。もともと話すことが苦手な何を話せばいいかわからないから話すことを避けてしまっていたところもあって即興で話すということが私にとって難くなっているのではないかと思ったので、これからは避けずに人ともっと話すようにしようと思いました。スピーキング力を高めたいと思っていたので、勉強の仕方やこれから自分が気を付けるべきことがわかり、この授業は私にとっていいものだったと思います。また、今回15人の学生が参加してそのうち11人が2年生や3年生で、先輩方との英語力の差に落胆しながらもこれから頑張るぞとも思えたので、一年生のうちに参加できたことも良かったと思います。

次に、英語の授業以外のことについて書きたいと思います。このプログラムでは英語の授業以外にタイの文化について学ぶ授業がニコマとタイと日本の culture exchange の時間がありました。タイの文化について学ぶ授業ではタイの基本的な文化についてはもちろん、タイ語の文字を書いたりタイの建造物などに使われている複雑な模様をなぞってみたり、この授業を通してよりタイ



に興味を持つことができました。Culture exchange ではバディではない一般のキングモンクット工科大学の生徒に日本文化を楽しんでもらって交流をしました。そこで友達ができ、放課後にご飯を食べに行ったりお買い物を楽しんだりもしました。現地のタイの学生と交流するきっかけができて良かったです。

放課後は毎日タイのバディにいつもどこかに連れて行ってもらってタイを十分に楽しむことができました。レストランにご飯を食べに行ったり、タイのショッピングモールに行ってお土産を買ったり、日本にいるときより大学生をしていて楽しかったです。タイのバスやタクシーに乗ったり、ロットカポーという乗り物にも乗ったりして、日本の乗り物との料金の差や乗り物のスピード、料金の払い方などの違いも知ることができるいい機会でした。タイの生徒と話していて、母語がタイ語の上に工科大学であるのに英語を流暢に話していることに、「私ももっと頑張らないと」と思わされました。また、日本語を話せるタイの生徒もいて「なんで話せるの?」「どうやって勉強したの?」と聞くと、「日本が好きだから」「日本の音楽が好きでYouTubeで勉強した」という回答が返ってきて、日本語を勉強しているノートも見せてもらって、その様子からも自分の頑張りの足りなさを実感させられました。これからもっと自主的に勉強に取り組むべきだなと思いました。

私はちょうど折り返しの日ぐらいで体調を崩してしまっただけだったのでそのことについても書いておきたいと思います。朝方に吐き気がして一度吐いてしまいました。その日は土曜日でしたが field trip で水上マーケットに行く予定で、朝7時集合で朝ご飯をみんなで食べてから観光バスで行く予定でした。7時に集合場所には行って朝ご飯は受け取りましたが、食欲もあまりなくて気分もあまり良くなかったため、その日は1日休みたいということをタイバディに伝



え大学内の宿泊していたところで1日休みました。日本から持っていた正露丸や冷えピタ、ポカリ粉末が役に立ちました。タイのコンビニやスーパーにも売っていて持ってこなくても良かったのではないかと思ったこともあったのですが、いつ体調を崩すかわからないので、持ってきてよかったなどこの時思いました。大学内にセブンイレブンもあり、フルーツやうどん、茶碗蒸しなどを食べました。一緒に参加していたルームメイトや先輩たちがいろいろ買ってきてくれたり、タイバディにいろいろ聞いてくれたりしてくれて本当にありがたかったです。お腹は痛くなかったし、次の日にはだ

いぶ良くなりました。こんなに毎日出かけることもないし、タイは本当に暑かったので、疲れで体調を崩してしまったのだと思います。

最後に、私はこのプログラムに友達と参加したとかではなく、一人で参加を決めました。しかし、一緒に参加した北九大生の方々がとても優しくいい人ばかりで、先輩との繋がりをあまり作れずにいた私にとってとてもいい機会にもなりました。英米学科の人がほとんどで勉強方法や履修の話なども聞くことができよかったです。タイの学生たちもフレンドリーでいい人ばかりで、初めての海外がタイで良かったなと思います。ときどき言いたいことを英語で伝えきれない時があり、タイのバディが頑張ってわかってくれようと待ってくれることもありましたが、やはり伝わらないということが悔しくて、次海外に行くときにはもっと話せるようになっておきたいと思いました。私のこのプログラムの参加は思いつきであったとも言えますが、本当に参加して良かったなと思います。楽しく、かつ学びも得られた短期留学になりました。